

東京大学大学院教育学研究科

インクルーシブな未来創造社会連携講座

特任准教授募集要項

東京大学大学院教育学研究科では、動物との社会参加の可能性を含め、誰もが排除されことなく安心・安全な居場所を感じられ、対話的で協調的な関係を築くことのできるインクルーシブな社会関係の創出を目指して、公益財団法人日本補助犬協会との連携の下、「インクルーシブな未来創造社会連携講座——補助犬との協働でひらく共生社会」を設置しました。この度、上記目的を達成するための研究を企画・立案し、推進する特任教員1名を公募します。

1. 職名及び人数

特任准教授（任期付）・1名

2. 契約期間

2026年12月1日以降のできるだけ早い時期～2027年9月30日

3. 更新の有無

更新無し。

4. 試用期間

採用された日から14日間

5. 就業場所

東京大学大学院教育学研究科

6. 所属

東京大学大学院教育学研究科

インクルーシブな未来創造社会連携講座

7．業務内容

主に下記事業に関する業務を行う（詳細については採用時に協議の上決定）。

（１）アクションリサーチ（補助犬との共生促進のための実効的なコンテンツ開発、支援犬が教育/療育現場・就労現場にもたらす文化変容に関する実践研究等）

（２）社会構想創発研究（動物を含む多様な存在を包摂する法規範・制度設計に関する研究、人間中心主義・言語中心主義・個人化された能力主義を越える社会ビジョンに関する研究等）

（３）教育プログラム（学生向け・市民向け連続セミナー、学校教員向け教育コンテンツ、事業者向け学習コンテンツ等）

8．応募資格

(1) 動物介在活動、動物の福祉・倫理、障害学等の領域において優れた実績を有すること

(2) 研究プロジェクトを主体的に立案し、主導する意欲とリーダーシップを有すること。

(3) 関連分野における博士の学位を有すること。

(4) 国際コミュニケーション力と国際ネットワークを有し、国際的な研究・教育の展開に意欲的であること。

9．就業時間

専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分、週38時間45分勤務したものとみなす。

10．休日

土日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日）

11．休暇

年次有給休暇、特別休暇等

12．賃金等

年俸制を適用し、業績・成果手当を含め月額50万円～58万円程度（資格、能力、経験等に応じて決定する）、通勤手当（原則55,000円/月まで）

13．加入保険

法令の定めにより文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入

14．提出書類（日本語または英語で作成してください）

①履歴書（以下から東京大学の統一フォーマットをダウンロードして記入の上、pdf ファイルにすること。写真不要、性別記入は任意。）

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>

②これまでの研究および教育の概要（A4用紙1枚程度）

③これまでの研究業績のリスト

・著書、学術論文、受賞歴等

④関連分野の主要研究論文の別刷3編以内。（原則としてPDFで提出してください）

⑤本講座に採用された場合の、研究活動に関する抱負（A4用紙1~2枚程度）

⑥照会可能者2名以上の所属・氏名・連絡先（電話番号、電子メールアドレス）

※なお、書類審査の合格者に対して、追加で資料提出を求める場合があります。

15．提出方法

提出書類（14．）をすべてpdfファイルにして、以下の提出先にメールで送付してください。

（①～⑥の提出書類は、ファイル名の冒頭に氏名を入れてください。）

16．応募締切

2026年10月5日（月）（必着）

書類選考の上、必要に応じて面接等を実施する予定です（オンライン実施の可能性もあります）。

※面接等の対象者のみに連絡いたします。

17．問い合わせ先

東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター

メール cbfe@p.u-tokyo.ac.jp

18．募集者名称

国立大学法人東京大学

19．受動喫煙防止措置の状況

敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）

20．その他

- ・取得した個人情報、本件の人事選考の目的以外には利用しません。また、応募書類は返却しません。適切に廃棄いたします。
- ・面接等のための交通費は、自己負担となりますので、あらかじめご承知おきください。
- ・採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。